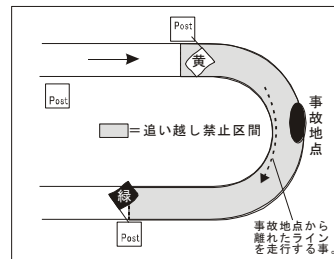


2026 VITA OF ASIAブリーフィング資料

【共通項目】

1. 走行セッション中にヘアピンゲートからパドックアウトする事は出来ません。走行中断する場合はピットインし、セッション終了まで指定整備エリアにて待機する事。
2. 公式予選において走路外を走行した周回のラップタイムは、無効とされ公式結果から削除される場合がある。
また、決勝レースにおいて走路外を走行した場合は警告、ペナルティの対象となることがある。
3. イエローパネル表示区間においては、事故現場を確認し、減速して現場より離れたラインを走行する事。**(追い越し厳禁)**。
現場のオフィシャルが手で進路を指示している場合は、指示に従い走行を行う事。
ダブルイエローの場合は**走行ラインが塞がれている場合もあるので特に慎重に走行する事**。(停止が必要な可能性も有り)
4. コース上で停止もしくはコースアウトによって回収作業が必要な場合は、**必ずエンジンを停止し、オフィシャルの指示に従って**、出来る限り自分の車両の回収作業に協力する事。
走行再開が可能な場合は、シートベルト等の装備及び車両に問題がない事を確認の上、他車の邪魔をしないよう再スタートする事。この時、車両に載った砂利等はコースに出さないよう対応する事。
5. オレンジ色の円形のある黒旗(オレンジディスク)は、[0]・[5]・[7.8]・[10]番ポストで提示します。
提示された車両は、機械的の欠陥が生じているので、**直ちにピットインし車両を確認、修復する事**。
また、自己の車両がオイル漏れなどでコースを汚損している場合は、無理に走行せず直ちにコース上を外れて安全な場所に停止する事。
6. 国際モータースポーツ競技規則・附則L項、岡山国際サーキット4輪レース一般競技規則 第4章第18条2. を遵守したクリーンな走行を行う事。
7. 公式予選後は、チェッカーフラッグを提示されたら、ピットイン後マーシャルカー先導でヘアピン出口からCパドックに戻る事。



【公式予選】

□15分前:	指定整備場所からヘアピン入口ウェイティングエリアに整列。 サービスカーでのサポートが必要なチームは、事前に外周路を通りBパドック車検場前に留めて下さい。
□10分前:	ヘアピン入口よりコースインしマーシャルカー先導でピットイン。 ピットイン後ファストレーンに停車し待機すること。 サービスカーをピットレーン作業エリアに入れる必要がある場合はオフィシャルの指示に従って1番ピット手前開口部からピットレーン作業エリアに進入すること。 その際にGTWCのエアアームが出ている箇所があるので引っ掛けない様に要注意!
□公式予選開始:	以後、予選終了までヘアピン開口部は閉鎖。作業をする場合は各自の指定作業エリアで行うこと。
□チェッカー後:	競技車両は全車ピットインし、マーシャルカー先導でCパドックに戻る。 ※サービスカーは外周路を通りCパドック戻して下さい。ピットレーンにいるサービスカーは、コントロールタワー下よりBパドック側に出て、外周路からCパドックに戻る。

【決勝レース】

8. スタート進行

□25分前 :	<コースイン10分前> 整備場所からヘアピン入口ウェイティングエリアに整列 サービスカーのサポートが必要な場合は予選と同様手順で外周路からBパドックに向かう事。
□15分前 :	<ヘアピン入口オープン> 競技車両はヘアピン入口よりグリッドに向けてコースイン。 グリッドに付いたらエンジン停止。グリッドに付かずピットレーンに進入した車両は ピットスタート となる。
□10分前 :	<赤ランプ5灯「2度点滅」> ヘアピン横開口部も閉鎖となる。ヘアピンからコースインできなかった車両は出走できません
□5分前 :	【5minボード】 <赤ランプ4灯> グリッドへの進入は締め切られる。 タイヤマーキングチェック等の出走前点検はグリッド上で行います。
□3分前 :	【3minボード】 <赤ランプ3灯> グリッド上での作業は禁止。4輪が地面に設置していなければならない。 ドライバー、オフィシャルおよびエンジン始動補助 ピットクルー以外は全員グリッドから退去。

□1分前：【1minボード】<赤ランプ2灯>エンジン始動。エンジンが始動しなかったり車両の異常でスタートできなくなったりした場合、直ちに後方の車両およびグリッドオフィシャルに明確に合図すること。
□15秒前：<赤ランプ1灯>この後、赤ランプ消灯→緑ランプ点灯で、競技車両は隊列を保ちながら先頭車両のペースによりフォーメーションラップを開始する。
□フォーメーションラップスタート： ・スタート出来ない車両がある場合はそのポジションの横およびそれより後方のグリッドオフィシャルにより黄旗合図が出るので後続の車両は注意してスタートする事。スタート出来ない車両は全車スタート後にオフィシャルによる押しがけが試みられるが、スタート出来た場合でも他の競技車両を追い越す事は出来ない。 ・フォーメーションラップ中は各ポストで緑旗を振動表示しているのでポスト位置を確認しておくこと。 ・フォーメーションラップ中のスタート練習等は禁止する。 ・フォーメーションラップで、自己のグリッドポジションを保てなかった場合、ピット進入ロードまでに自己のポジションに戻ることが出来ればグリッドからスタート出来る。ただし、下記の車両は最後尾グリッドからのレーススタートとなる。 ① ピット進入ロードまでにグリッドポジションに戻れなかった車両 ② フォーメーションラップに出遅れ、メインフラッグタワーから黄旗を提示された車両 ・フォーメーションラップ終了後、全車グリッドに着くと赤色ライトが1秒間隔で5灯まで点灯する。 ・赤色ライト5灯点灯後、2秒以上3秒以内に全赤色ライトが一斉に消灯し決勝レーススタートとなる。 ・フォーメーションラップ終了時、車両がグリッドに着いたときに問題が生じた場合、以下の何れかの処置を行なう。 ●エクストラフォーメーションラップ・・・車両はエンジンを切る事なく再度フォーメーションラップを行なう。 ●スタート・ディレード・・・車両のエンジンは切れ、フォーメーションラップ開始3分前の時点から再開となる。 ※何れの場合もレース距離は1周減算される。

例外的な状況下の際は、岡山国際サーキット4輪一般競技規則書 附則1 16.を適用したセーフティカー先導によるスタートとする。なお、この場合先導の周回もレース周回にカウントされる。

9. 決勝レース中の反則に対しタイムペナルティが課せられる場合があり、メインフラッグタワーにて以下のボード提示を行なう。
「ドライブスルー」と「タイムペナルティ」はスタートライト横の「インフォメーションパネル」でも表示します。
提示された対象のドライバーはピットインしペナルティを実行すること。
- 1) タイムペナルティ・・・T + CarNo.
競技結果に「5秒」もしくは「10秒」を加算する。
- 2) ドライブスルーペナルティ・・・D + CarNo.
自己のピットへ停止せずにファストピットレーンを通過しレースに復帰すること。
- 3) ペナルティストップ・・・P + CarNo.
① 自己のピットではなくピットレーン出口右側のペナルティエリアに停車する事。(公式通知No.2参照)
- ③ 車両が停止したら前方に設置されている「カウントダウンタイマー」にてカウントダウンが始まり、表示が“0”になるとペナルティ終了となりレースへ復帰できる。
※上記2)もしくは3)ペナルティが提示されてから3周以内にペナルティを実行しない場合は失格となる。
※上記2)もしくは3)ペナルティの場合もピットレーンの速度制限60km/hを厳守する事。
●レース中に罰則を課せられない場合は、競技結果に対してタイム加算のペナルティが課せられる。
10. **レッドパネルが表示された場合は**、走行車両はゆっくりと進み、ピットインしてファストピットレーン上の赤旗ライン(18ピット前付近)で停止すること。すべての車両は最初にピットレーンに到達した車両の後ろに一列に整列するものとする。もし、コースが閉鎖されたこと等によりピットイン出来なくなった車両がある場合、当該車両はコースが使用可能な状態になり次第ピットレーンに戻され、レースが中断される前の順に配列される。
加えて、レースが中断された時点でピットレーンあるいはピット進入路にいたすべての車両は、レースが中断される前に占めた順序に配列される(各車両の位置が特定できる最終のコントロールライン通過順)。レースが中断されたときにガレージ内にいた一切の車両は、ファストピットレーンで整列する車両の後ろに、そこに到達した順番に配置される。
- ① 車両は競技役員の許可がない限り、赤旗が提示されている間はファストピットレーンから移動することは出来ない。レース中断の合図が出されピットインした後に作業エリアその他いずれかの場所に車両を移動したドライバーは、ファストピットレーンに停止した車両列の当初の順序に戻る事は出来ない。
- ② 赤旗時ピットイン後のファストレーン上での作業が許可されるが、かかる作業はすべて以下に限られる。
- ・エンジンの始動およびエンジン始動に関する準備
 - ・天候の急変等により競技長が許可した場合のタイヤ／ホイール交換。
 - ・雨天時に車両を覆うカバーの装着。
 - ・ピット作業エリアに停車しての作業は可能だが、再開時に隊列の後ろになる。
- ③ レースの再開はピットレーンからSC先導により再開される。
※赤旗中断中ファストピットレーンでの車両の移動、並び替えを行う場合があるのでオフィシャルの指示に従う事。
詳細はOKAYAMAチャレンジカップレース特別規則書の通りに行なう。

11. セーフティカー(SC)の導入時(岡山国際サーキット4輪一般競技規則書 附則1に基づく)

全ポストで「SCパネル」が表示される。

全コース上での**追い越しは禁止される**。また緊急車両等がコースインする可能性があることを考えながら走行すること。

SCの後方に続く競技車は車両5台分以内の車間距離で一列に整列して走行すること。SCから追い越しの指示(ルーフのグリーンライトの点灯)のあった競技車のみセーフティカーを追い越してコースを1周し列の後方につくこと。

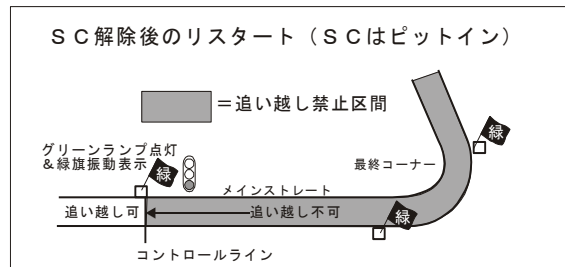
SCが先頭車両を捕捉後にその車両がピットインをした場合は、SCの直後に走行中の車両を先導車両とみなし、再スタートする。

競技再開のためSCがルーフのオレンジライトを消灯した以降は、SC後方に並ぶ隊列の先頭車両のペースで走行する。

SCがピットレーンに入ると全ポストの「SCパネル」消灯されグリーンパネルが表示される。(先頭車両が1周回の間)

各車両ともコントロールラインを通過するまでは、明らかに問題をかかえてスピードダウンしている車両を除き、**追い越しは厳禁**。

なお、決勝レーススタート後1周回は12番ポスト手前右側にSCを待機させ、スタート直後のSC導入に備える。



12. 本競技会で使用できる燃料はBパドック内ガソリンスタンドで販売の「idemitsuハイオクガソリン」のみとなっているので、他銘柄とのブレンド等無いよう注意する事。

13. レース周回数およびレース時間について(10周/25分)

レース周回数が走破される前に設定されたレース時間を経過した場合は、この時間が経過した後にレース先頭車両がラインを通過した時点で、レース終了の合図が提示される。

(赤旗中断の場合、GTWCレース進行に影響が出る場合は終了となる場合があります。)

14. チェッカー後は、減速及び追い越し禁止を厳守し、コースを1周して全車メインストレート上の右側(偶数側)グリッドラインに1列で停車すること。各クラス上位3台は仮表彰を受ける為、メインスタンド側に車両を向けて停車。

その後、全ての競技車両はマーシャルカー先導でコースを半周し、ヘアピン出口からCパドック内整備テントで車両保管を行う。また、チェッカー時にピットに残っていた車両は速やかに準備をしてピットレーン出口から合流する。

サービスカーはコース外周を通りCパドックに戻る。ピットレーンにいるサービスカーはコントロールタワー下よりBパドック側に出て、外周路からCパドックに戻る。

15. 各チーム責任者は、責任を持って自チームのピットクルーおよびゲスト等の安全管理を徹底し指導すること。

※各項の詳細については岡山国際サーキット4輪一般競技規則書、2026 OKAYAMAチャレンジカップレース特別規則、国際モータースポーツ競技規則・附則H項等を確認しておくこと。

以上 競技長